

1 全体状況

■図表2-1 障害者数

		総 数	在 宅 者	施設入所者
身体障害児・者	18歳未満	9.8万人	9.3万人	0.5万人
	18歳以上	356.4万人	348.3万人	8.1万人
	合 計	366.3万人(29人)	357.6万人(28人)	8.7万人(1人)
知的障害児・者	18歳未満	12.5万人	11.7万人	0.8万人
	18歳以上	41.0万人	29.0万人	12.0万人
	年齢不詳	1.2万人	1.2万人	0.0万人
	合 計	54.7万人(4人)	41.9万人(3人)	12.8万人(1人)
精神障害者	20歳未満	17.8万人	17.4万人	0.4万人
	20歳以上	305.4万人	272.5万人	32.9万人
	年齢不詳	0.6万人	0.5万人	0.1万人
	合 計	323.3万人(25人)	290.0万人(23人)	33.3万人(3人)

注1：（）内数字は、総人口1,000人あたりの人数（平成17年国勢調査人口による）。

注2：精神障害者の数は、ICD10（国際疾病分類第10版）の「V精神及び行動の障害」から精神遅滞を除いた数に、てんかんとアルツハイマーの数を加えた患者数に対応しており、「患者調査」の外来患者を在宅者、入院患者を施設入所者とみなしている。

また、年齢別の集計において四捨五入をしているため、合計とその内訳の合計は必ずしも一致しない。

注3：身体障害児・者の施設入所者数には、高齢者関係施設入所者は含まれていない。

資料：「身体障害者」在宅者：厚生労働省「身体障害児・者実態調査」（平成18年）

施設入所者：厚生労働省「社会福祉施設等調査」（平成18年）等

「知的障害者」在宅者：厚生労働省「知的障害児（者）基礎調査」（平成17年）

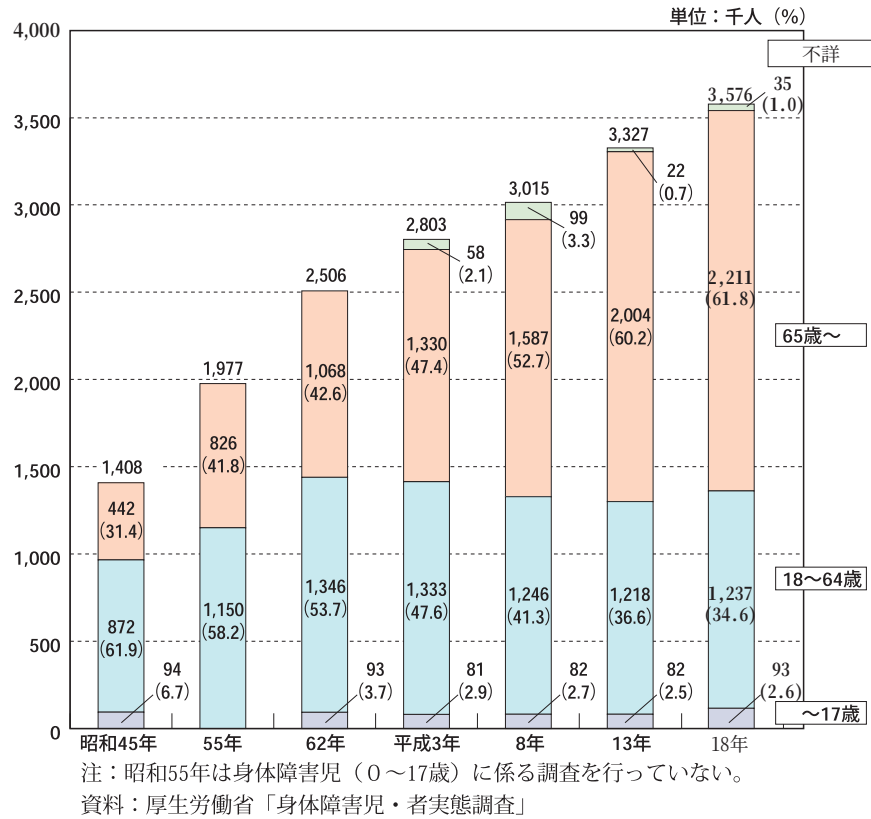
施設入所者：厚生労働省「社会福祉施設等調査」（平成17年）

「精神障害者」在宅者：厚生労働省「患者調査」（平成20年）より厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部で作成

施設入所者：厚生労働省「患者調査」（平成20年）より厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部で作成

2 年齢階層別の障害者数

■図表2-2 年齢階層別障害者数の推移（身体障害児・者・在宅）



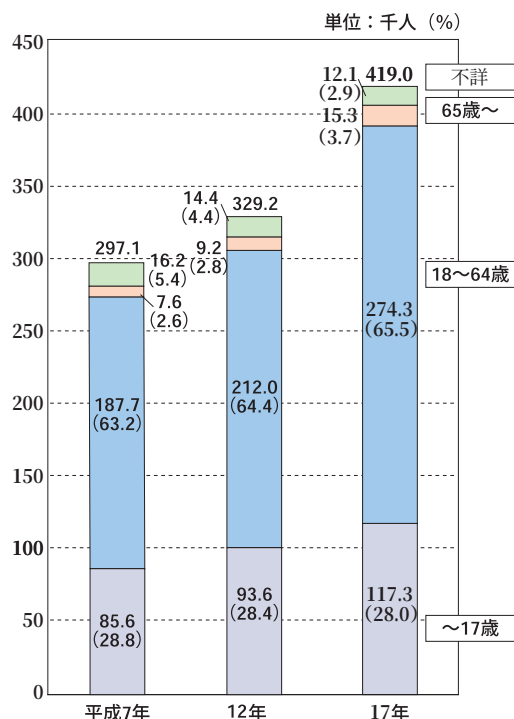
■図表2-3 年齢階級別にみた身体障害児・者数（在宅）の人口比（対千人）

単位：人

0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
3.2	4.4	4.1	6.1	11.6	24.4	48.9	58.3	94.9

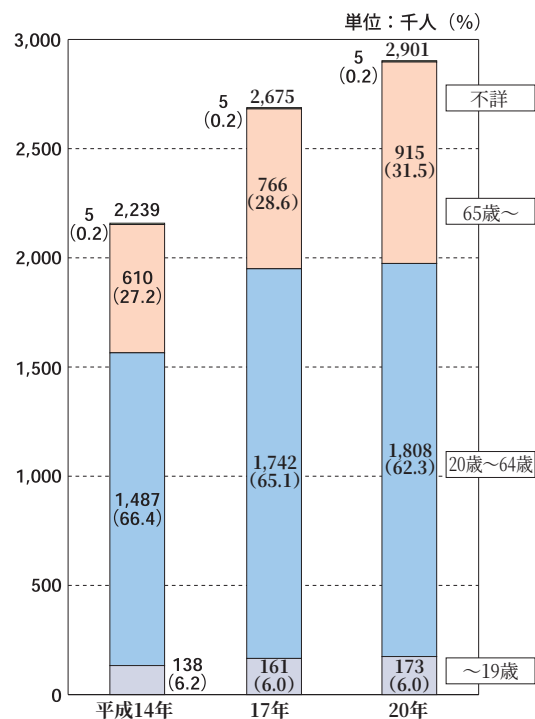
資料：厚生労働省「身体障害児・者実態調査」（平成18年）

■図表2-4 年齢階層別障害者数の推移（知的障害児・者・在宅）



資料：厚生労働省「知的障害児（者）基礎調査」

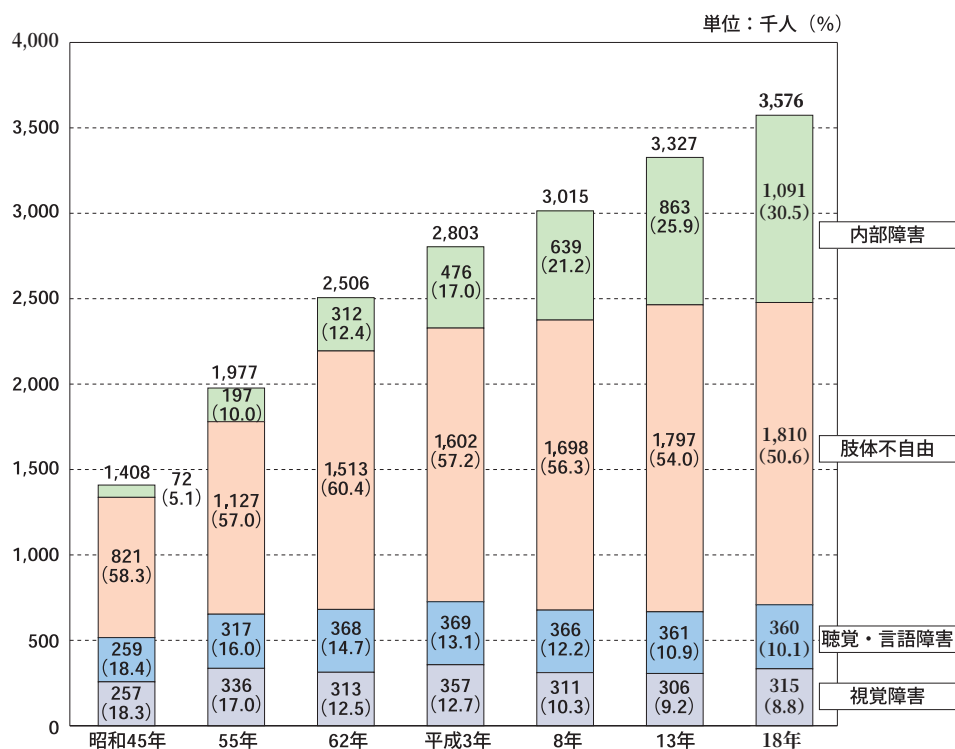
■図表2-5 年齢階層別障害者数の推移（精神障害者・在宅）



注：「精神障害者・在宅」とは外来の精神疾患患者である
資料：厚生労働省「患者調査」より厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部で作成

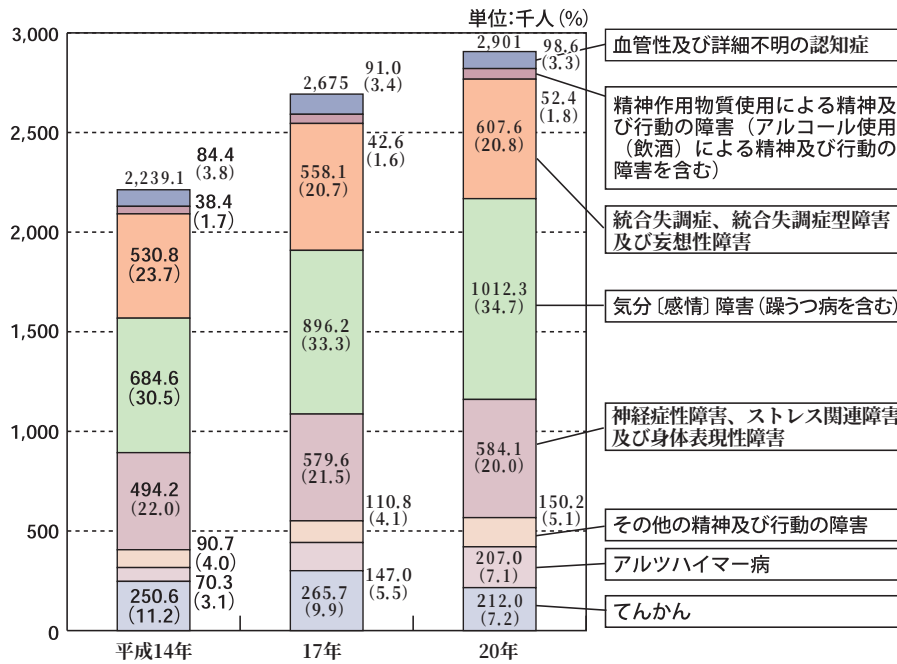
3 障害種別の障害者数

■図表2-6 種類別障害者数の推移（身体障害児・者・在宅）



注：昭和55年は身体障害児（0～17歳）に係る調査を行っていない。
資料：厚生労働省「身体障害児・者実態調査」

■図表2-7 種類別障害者数の推移（精神障害者・在宅）

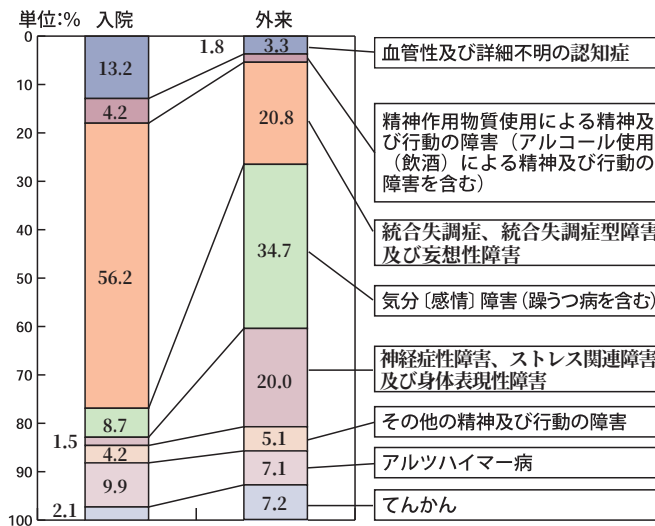


注1：疾患名については調査時点のものである

注2：「精神障害者・在宅」とは外来の精神疾患患者である

資料：厚生労働省「患者調査」より厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部で作成

■図表2-8 精神障害者の精神疾患の種別構成割合



資料：厚生労働省「患者調査」（平成20年）より厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部で作成